

放課後等デイサービス オモイダマ各務原 自己評価（令和4年度）

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善や工夫していること
環境・ 体制 整備	①	指導訓練室のスペースが利用定員に対して適切であるか。	0	5	1	
	②	職員の配置数は適切であるか。	6	0	0	
	③	事業所の設備について、バリアフリー化等の配慮がされているか。	4	2	0	
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、職員が参加しているか。	5	1	0	
	⑤	アンケート調査等を実施して、保護者等の意向を把握し業務改善につなげているか。	6	0	0	
	⑥	事業所の自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5	1	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	0	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	6	0	0	
	⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営をしているか。	1	5	0	
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	6	0	0	
	⑪	子どもの適応行動の状況を知るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	5	1	0	
	⑫	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	0	
	⑬	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	0	
	⑭	平日、長期休暇等に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	6	0	0	
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	0	
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	5	1	0	
	⑰	支援終了後には、職員間で必ずその日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6	0	0	
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底しているか。	6	0	0	
	⑲	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しがされているか。	6	0	0	

	⑳	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ せて支援を行っているか。	6	0	0
	㉑	相談支援事業所のサービス担当者会議にその子 どもの状況に精通した者が参画して	6	0	0
関係機関 や保護者との 連携	㉒	学校との情報共有（年間計画・行事 予定、子ども の下校時刻等の確認）連絡調整を	1	5	0
	㉓	医療的ケアが必要な子供やアレルギーがある子 どもを受け入れる場合は、子どもの	6	0	0
	㉔	就学前に利用していた保育所や幼稚園等や児童 発達支援事業所との間で情報共有と	3	3	0
	㉕	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所か ら障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、	4	2	0
	㉖	児童発達支援センターや発達障害者 支援センター等の専門機関と連携し、助言や	6	0	0
	㉗	放課後児童クラブや児童館との交流 や、障害の	2	4	0
	㉘	地域自立支援協議会等へ積極的に参	0	4	2
	㉙	日頃から子供の状況を保護者と伝え あい、子ども の発達の状況や課題について共有	6	0	0
	㉚	保護者の子育ての力を支援するため に、子育て	6	0	0
	保護者への 説明責任	㉛	見学時や契約時に、運営規程、支援 の内 容、利用者負担等について丁寧な説	6	0
㉜		障害のある子どもや保護者との意思 の疎通や情	6	0	0
㉝		父母の会の活動を支援したり、保護 者会等を開 する等により、保護者同士の連携を	3	3	0
㉞		苦情があった場合、迅速かつ適切に 対応してい	6	0	0
㉟		定期的に会報等を発行し、活動概要 や行事予 定、連絡体制等の情報を子供や保護	5	1	0
㊱		個人情報に十分注意しているか。	6	0	0
非常時 等の 対応	㊲	非常時における対応やマニュアルを 職員は周知	5	1	0
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的 に避難、救	4	2	0
	㊴	虐待防止のため、職員の研修会 を実施して	6	0	0
	㊵	やむを得ず身体拘束を行わな ければなら ない場合は、カンファレンス等 において決定し、適切な対応を保	6	0	0
	㊶	ヒヤリハット事例について事業 所内で共有	6	0	0

